

---

# MOON-3 『WOLF MEET VAMPIRE』 <最終話>

みづき海斗

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

MOON・3『WOLF MEET VAMPIRE』<最終話>

### 【Zコード】

N4413M

### 【作者名】

みづき海斗

### 【あらすじ】

そして、2人が待ちわびた『朝』が訪れる - - -

MOONシリーズ第三段『WOLF MEET VAMPIRE』

最終話です。

ヘルローゲ アンド プロローグ（前書き）

はい、無事終わつました（滝汗）。。。

## Hピローグ アンド プロローグ

「Hピローグ アンド プロローグ」

初夏を思わせる5月半ばの爽やかな風が新宿の街にも訪れる頃。

『朝』は、朝子の叫び声と共に幕を開けた。

「やだ、和人！まだ、寝てたの？もうAM8:30よ！」  
リビングの南側にある和人の部屋で。

彼女は言つが早いか窓際のカーテンを思い切り左右に開けた。

シャー・・・・・

光の洪水が一気に室内へと押し寄せる。

「ん・・・・・！」

今朝方帰宅したばかりの和人は、シャワーも浴びず黒いジャケットを

着たままの姿で寝室の”主”となつていた。

その光のあまりの眩しさに、思わずシーツを頭まで引きずり上げる。

「乱暴だな・・・朝子。」

眠りがまだ覚めやらぬ様子で、和人が呟く。

「何、言つてんのよ。」

朝子は呆れて和人のシーツを引つべ返した。

「秀が迎えに来るんでしょ？AM9:00ジャストに。」

「え！もうそんな時間？」

和人は慌てて飛び起きた。左手首にはめた LOREX を見ると、針は既に

AM8:40を田指して奮闘している。「やっぱ・・・・・・・・今  
日は

絶対寝坊するなつて釘さされてんだよな、あいつ。」「

「ほら、みなさい。」

朝子は和人の額を中指の背でこづいた。

「いてっ！」

「日頃の不摂生がこいつに時祟るのよ。いい加減、半田ずれた生活、

直しなさいね。」「

天使の笑みを浮かべて、朝子が言う。「さ、シャワー浴びて早く着替えて！」「

「う・・・・」

和人はしづしづと彼女の言葉に従つた。

どうやら彼は『朝』と名の付くものには、頭が上がらないらしい。

「これが『朝』よ。新しい一日の始まりよーーーなんて清清しいんでしょう！」

ふらふらとバスルームへ向かう和人を見送り、朝子が満足気に、着替えたら朝子さんお手製の『モーニング・セット』！

「モーニング・セットお？」

朝子の言葉に驚いた和人が、脱いだばかりのジャケット片手に振り返つた。

「何事！？」

「あら、心配しないで和人。ちゃーんとあなたの為に」

“あなたの為に”を強調し、「用意したんだから、レバニラ炒め。

「やめてくれ、朝子！俺を殺す気かっ！」

和人の悲鳴が、早朝のマンションに響き渡る・・・

「・・・・・お前・・・・・・・・」

秀はしげしげと和人の顔を覗き込んで言った。「すつぐく、顔色悪いぞ、今朝は。」「

「・・・・・何も聞かないでくれ。」

和人は今も、脳裏に残る朝子特性の”レバニラ炒め”の幻と格闘していた。

一度言い出したら、雨が降ろうと槍が降ろうと決して引かない朝子の為にかろうじて1／3は片付けた和人だった。

青山にある、秀のオフィスの廊下。

ミーティングルームへと続く長い廊下を歩きながら、

「しかし - - - 朝子さんも大変だよな。お前みたく好き嫌いの激しい奴

相手じゃ、せっかく作った料理も張り合いないだろうに。」

「俺への”同情”はないのか、俺への。」

和人は拗ねた様に、秀を横目で睨んだ。

秀は、ニカツと笑い、

「『食』に関しては？ 好き嫌いする奴の方が悪い。」

きつぱりと言い切った。

「 - - - 帰る。短い付き合いだつたな。」

「あ、待つて、冗談！ - - - 和人ちゃん！」

踵を返し、今来た廊下を戻り始めた彼の姿を、慌てて追いかける秀。

「俺がお前の朝食から夕食まで、全部手伝つてやつから! - - - え・・・・・・・」

秀の言葉に振り返る和人。

碧を帯びた瞳を僅かに見開き、並んだ秀を見つめる。

「そう言う事。」

秀は、につ、と笑つて自分を指差し、「今日から俺もお前の  
『運命共同体』。」

「秀！何やつてんのよ、そんな所で！」

廊下での秀の声を聞き付けたさやかが、スタッフと共に部屋から走り出でくる。

「遅刻よ！今、何時だと - - - 」

と、怒鳴りかけて彼の隣の青年に気付く。

慌てて両手で口を押さえ、「…………やだ、一人じゃなかつたの？」

「誰だ、秀、彼は。」

信一が、やはりその姿に魅入られた表情で口だけぼくぼくと動かし、

からうじて声を絞り出す。

「紹介するよ。」

秀は和人の背を叩き、みんなの前へと押しやつた。

『Offic e To One』専属モデル——和人だ。『MONA』の撮影は彼でいく！

そして——始まる。

2人が待ちわびた、新しい『朝』。

n『MAKES REVOLUTION』  
Fin : BGM · T · M · Revolution

## H&Rローグ アンド プロローグ（後書き）

これで『夜叉』へと続く作品が全部サイトUPできました。  
さて、次はどの小説から書き始めよう（—￥）  
(今日は仕事さぼっちゃった。連絡入れたけどね 訳あり(ー)  
来週はがんばるっ・・・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4413m/>

MOON-3『WOLF MEET VAMPIRE』<最終話>

2010年10月11日19時41分発行